

今月号はJA鳥取県大会で決議したJAグループの目的(あるべき姿)

I「持続可能な鳥取県農業の実現」についてお伝えします!

JAグループは11月21日、「組合員とともに農業・地域の未来を拓く
～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～」をスローガンに掲げ、JA鳥取県大会を開催しました。

大会では向こう3年間(2019~2021年)の取り組みを決議し、

- 「目的I: 持続可能な鳥取県農業の実現」
- 「目的II: 地域社会への貢献」
- 「目的III: 協同組合としての役割発揮」

の3つの目的(あるべき姿)の実現に向け、さらなるJA自己改革を押し進めていきます。

目的I: 持続可能な鳥取県農業の実現

1. 農業生産基盤の維持強化

★担い手確保

○親元で農業を継がれる方・新たに農業を始める方など、将来の鳥取県農業を担う皆さんの就農をサポートし、後継者対策に取り組みます。

★農地維持・活用

○農地の維持・活用に向けて集落営農組織の次世代育成による組織強化等や関係団体との連携強化を図ります。

★JAでの具体的取り組み

○○○○○

2. 農業生産力・所得増大への取り組み

★生産力強化・コスト削減

○「安心で美味しい」鳥取県農畜産物の生産力強化・販路拡大・コスト削減に向けさらなる取り組みを進め農業生産を支援します。

★直売所・労働力確保・所得増大

○直売所での販売力強化とともに、より選ばれる鳥取県ブランドとなるため、新たな価値の創出や労働力確保等に取り組むことで、農業所得の向上を目指します。

★JAでの具体的取り組み

○○○○○

3. 様々な担い手に対応した支援・営農指導の実践

★総合的な支援

○農家・組合員の皆さんのもとに出向き・対話により、営農に関するご相談・ご要望に対応することで、さらなる支援に取り組みます。



★JAでの具体的取り組み

○○○○○

上記のことの具体的な取り組みについては、随時広報誌等で皆さんに発信していきます。

次号では、JA鳥取県大会で決議されたJAグループの「目的(あるべき姿): 地域社会への貢献」の詳しい内容についてお伝えしていきます。